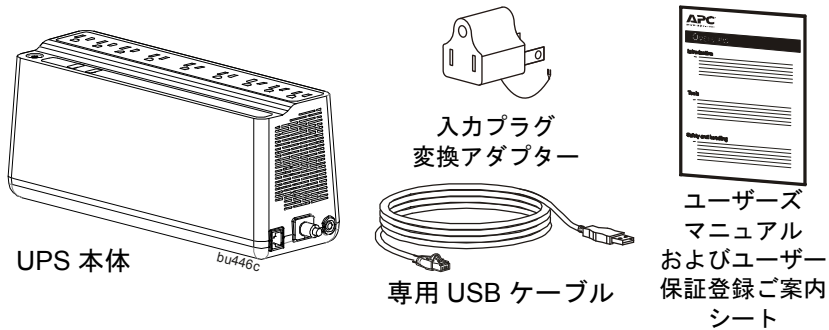


パッケージの内容



安全性および一般情報

受領した時点で梱包の内容物を点検してください。製品が破損している場合は、運送業者および販売店までお知らせください。

このマニュアルは大切に保管してください - このセクションでは、UPS およびバッテリーの装着および保守を行う際に守るべき重要な手順を説明しています。これらの指示手順に従わない場合、機器の損傷につながるおそれがあります。

⚠ 危険

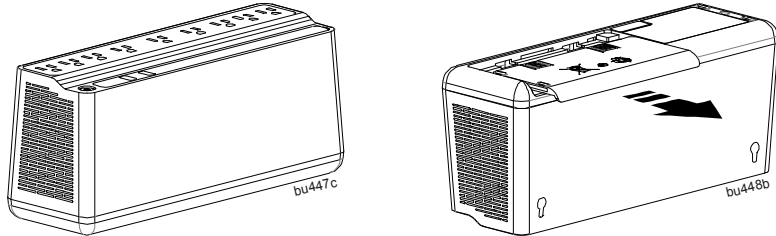
感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- 本 UPS は屋内専用で設計されています。
- 本 UPS を、直射日光が当たる場所、液体に触れるような場所、あるいは過度のほこりや湿度のある場所では作動しないください。
- UPS の電源コードを直接壁コンセントに接続してください。
- UPS の通気孔を塞がないでください。適度な換気を得るための適切なスペースを確保してください。

これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷または死亡につながります。

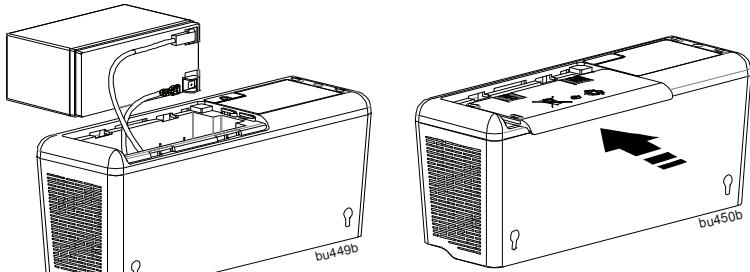
バッテリーの接続

UPS はバッテリーケーブルが一本外された状態で出荷されます。



1 出力部に貼られている「Stop! Connect the Battery」(まず、バッテリーを接続してください) ラベルを外します。

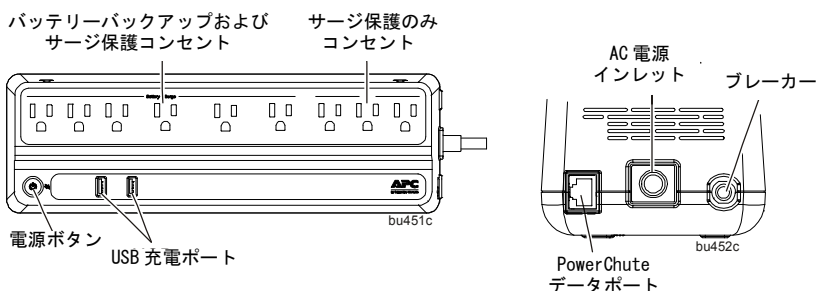
2 UPS を裏返し、本体の下部にある、バッテリーのコンパートメントカバーのリリースタブを押します。スライドさせてバッテリーカバーを外します。



3 バッテリーケーブルをバッテリー端子にしっかりと接続します。バッテリーケーブルをバッテリー端子に繋げる際に小さな火花が見えることがありますが、異常ではありません。

4 バッテリーのコンパートメントカバーを再度取り付けます。リリースタブが固定されていることを確認してください。

機器の接続



注意: BE750M2E-JP および BE750M2E-JP の上部パネルには図のように USB 充電ポートが 2 つあります。BE550M1E-JP および BE550M1E-JP では 1 つの USB 充電ポートのみに対応しています。

| 機能 | 説明 | 推奨用途 |
|--------------------------|--|---|
| バッテリーバックアップおよびサージ保護コンセント | <ul style="list-style-type: none"> 停電や瞬低が発生した際に、一定時間の間、バッテリーから電源供給が行われます。 電力サージや出力スパイクからの保護を提供します。 | 停電時や AC 電源に問題が生じた際に電源を確保する必要があるコンピューター、モニター、その他の重要な周辺機器に接続します。 |
| サージ保護のみコンセント | <ul style="list-style-type: none"> 電力サージや出力スパイクからの保護を提供します。 | 停電時や AC 電源に問題が生じた際に電源を確保する必要のない、重要度の低い周辺機器 (プリンター、スキャナー等) に接続します。 |
| USB 充電ポート | <ul style="list-style-type: none"> 本体が AC 電源およびバッテリーに接続されている場合、電源を供給します。 | USB デバイスの充電 |

UPS をオンにする

電源ボタンを押します。緑色に点灯し、短いピープ音が発せられ、UPS の電源がオンになり接続先の機器が保護されていることを示します。

UPS バッテリーは、AC 電源に接続されている限り、UPS のオン/オフ状態に関係なく充電されます。UPS を初めてご使用の際には、24 時間の初期充電を行ってください。

UPS をオフにする

少なくとも 2 秒間、電源ボタンを押し続けます。最初のピープ音が鳴ったら、ボタンから手を離します。UPS の電源はオフになります。誤って電源ボタンに触れてしまっても、UPS が停止することの無いように、2 秒間の遅延時間が設定されています。

クイックミュート

バッテリー運転のアラーム音を一時的にミュートできます。アラーム音が鳴った際に電源ボタンを短い時間 (2 秒未満) 押すと、状況が回復するまでの間、アラームは一時的にミュートされます。短い二重ピープ音が鳴り、クイックミュートが有効になったことを示します。電源ボタンを 2 秒以上押すと、UPS 電源がオフとなります。バッテリー交換や充電器の通知など、他の重要なイベントは一時的にミュートできません。そうした場合は、本体の電源をオフにする必要があります。

バッテリー運転インジケータモード (アラーム設定)

UPS の電源がオンの状態にて、電源ボタンを押したまま 3 度目のピープが鳴るまで待つと、バッテリー運転インジケータを設定できるようになります。三度目のピープ音にて、電源ボタンは赤色と緑色に交互に点滅を開始します。電源ボタンから手を離すと、ボタンの色表示が UPS の現在のモードを示します。電源ボタンを押すと他のモードに切り替わります。以下の表に 3 モードの色分け内容が記載されています。モードを選択した後、5 秒間待つと UPS はモード選択を確定します。

| モード | 視覚表示 | 音声表示 | モード選択時の色 |
|----------------|--------------------------------|---|----------|
| アラーム停止 (デフォルト) | 電源ボタンは緑色に点灯し、2 秒ごとに点滅します。 | アラーム無し、バッテリー容量低下通知に切り替わると 30 秒ごとにアラームが 2 度鳴ります。 | 緑の点滅 |
| アラームなし | バッテリー容量低下通知に切り替わると、緑色に高速点滅します。 | UPS がバッテリー接続されている状態ではアラームは鳴りません。 | 赤が点滅 |
| フルアラーム | | アラームは 30 秒毎に 4 回鳴ります。バッテリー容量低下通知に切り替わるとアラームは 0.5 秒ごとに鳴ります。UPS がシャットダウンする際、4 秒ごとにピープ音を一回鳴らします。 | オレンジ色に点滅 |

PowerChute Personal Edition ソフトウェア

概要

UPS 設定を変更するには、PowerChute Personal Edition ソフトウェアを使用します。停電時、PowerChute はコンピューター上に開いたままのファイルを保存してからシャットダウンを実行します。電源が復旧すると、コンピューターを再起動します。

注意: PowerChute は Windows オペレーティングシステムとのみ互換性があります。Mac OS X を使う場合は、システムを保護するためネイティブシャットダウンを使用してください。お使いのコンピューターに付属するマニュアルを参照してください。

ソフトウェアのインストール

次の URL から、最新の PowerChute Personal Edition をダウンロードしてください。
<http://www.apc.com/jp/s/products/software/pepe.cfm>

コンピューターと UPS を付属の専用 USB ケーブルで接続してから、ダウンロードしたファイルを実行して、インストールしてください。

ステータスインジケータ

| ステータス | 電源ボタンの色表示 | アラーム音状態 | アラーム音終了条件 |
|---|-----------------------------|---|---|
| 電源スイッチオン UPS は接続された装置に AC 電力を供給しています。 | 緑の点灯 | なし | 該当なし |
| バッテリー運転 UPS はバッテリーバックアップコンセントにバッテリー電力を供給しています。 | 緑色に点灯し、2 秒ごとに 2 度点滅します。 | アラーム音の状態はバッテリー運転インジケータモードの設定に依存します。詳細はバッテリー運転インジケータモード (アラーム設定) 章を参照してください。 | - クイックミュートを使用したとき。 - アラーム音は、AC 電源が復旧したか、または UPS の電源がオフになると停止します。バッテリー運転アラームが聞こえるモードに対してのみ適用されます。 |
| バッテリー容量低下通知 UPS はバッテリー電力をバッテリーバックアップコンセントに供給しており、バッテリーが完全放電に近い状態になっています。 | 高速に緑色に点滅します。 | | |
| ローバッテリーシャットダウン UPS がバッテリー運転している状態でバッテリーが完全放電しており、UPS はシャットダウンします。 | なし | | - AC 電源が復旧したとき。 - AC 電源は 32 秒以内に復旧しなかったとき。 - UPS がオフになったとき。 |
| スリープモード UPS はシャットダウンし、AC 電源が復旧すると UPS も立ち上がります。 | なし | なし | 該当なし |
| バッテリー交換 • バッテリーが接続されていません。 • バッテリーは充電または交換が必要です。 | • 赤色でのみ点滅します。 • 緑色と赤色を交互 | • 連続音 • 連続音 | - UPS がオフになったとき。 - バッテリーの接続が外れている場合、バッテリーを接続してください。 |
| オンライン運転時の過負荷 この状態は、UPS が AC 電源を使用しており、接続された負荷が UPS の出力を超過する場合に起こります。過負荷が長時間にわたって起こる場合、UPS は過負荷シャットダウン状態に入ります。 | オレンジ色に点灯 | 連続音 | - 負荷が UPS から外されたとき。 - 負荷がプレーカー容量を超過し、UPS がオフになったとき。 |
| 過負荷によるシャットダウン バッテリー駆動時に、一つまたはそれ以上のバッテリーバックアップ出力において過負荷状態が発生しています。オンライン過負荷が長時間にわたって起こる場合にも当てはまります。 | なし | 連続音 | UPS がオフになったとき。 |
| USB 検出失敗 ショートが検出されたか、エラーが発生しています。 | 緑色とオレンジ色を交互 | なし | 該当なし |

壁面への取り付け

- 水平設置し、2 つのネジを 10.51 インチ (267 mm) 間隔で使用します。
- ねじの 5/16 インチ (8mm) が壁面からはみ出るようにします。



電圧感度の調整

UPSは線間電圧の歪みを検知すると、バッテリーのバックアップ電源に切り換え、接続された機器を保護します。UPSあるいは接続されている機器が入力電圧レベルに敏感すぎる場合は、切替電圧を調節する必要があります。

- UPSを電源コンセントに接続した後、電源をオフにします。
- 電源ボタンを10秒間押し続けます。電源ボタンは緑色と赤色に交互に点滅し、UPSが**プログラミング**モードに入ったことを示します。
- 電源ボタンは緑色、オレンジ色、あるいは赤色に点滅し、現在の感度レベルを示します。切替電圧の感度レベルの説明については表を参照してください。
- プログラミング**モードを終了するには、5秒そのままにするとすべてのLED表示が消灯します。**プログラミング**モードは有効にはなりません。

| LED点滅 | 感度設定 | 入力電圧範囲 (AC操作) | 推奨用途 |
|-------|------|------------------|------------------------------------|
| 緑 | 低 | 87 Vac ~ 113 Vac | 電圧の変動や波形歪みにあまり敏感でない機器にはこの設定を使います。 |
| 赤 | 中 | 90 Vac ~ 110 Vac | 工場出荷時のデフォルト設定通常条件の場合にはこの設定を使います。 |
| オレンジ | 高 | 93 Vac ~ 107 Vac | 接続されている機器が電圧や波形歪みに敏感な場合はこの設定を使います。 |


仕様

| モデル | BE550M1-JP BE550M1E-JP | BE750M2-JP BE750M2E-JP | |
|---|---------------------------|---|------------------|
| 入力 | 定格入力電圧 | 100 Vac 公称 | |
| | 入力周波数 | 50/60 Hz ± 3Hz (オート・センシング) | |
| | 下限切替電圧 | 90 Vac 通常 | |
| | 上限切替電圧 | 110 Vac 通常 | |
| | 出力電力容量 | 550 VA、330 W | 750 VA、450 W |
| 出力 | バッテリーバックアップコンセント | 5.5A | 7.5A |
| | 合計出力電流 | 12A | |
| | 電圧 - バッテリー運転時 | 100 Vac ± 8% | |
| | 周波数 - バッテリー運転時 | 50/60 Hz ± 1 Hz | |
| | 切替時間 | 6 ms 通常、最大 10 ms | |
| | USB 機能 | 充電のみに使用 | |
| | * 充電電流 | 5 Vdc、2.1 A (合計) | 5 Vdc、2.4 A (合計) |
| 充電器互換性 | USB バッテリー充電仕様 1.2 | | |
| * 出力電力は接続されたデバイスから引き出された依存電力です。使用するUSBの最大充電電流については、デバイスのメーカーにご確認ください。 | | | |
| 保護及びフィルタ機能 | AC サージ保護 | 486 J | |
| | EMI/RFI フィルタ | あり | |
| | AC 入力 | リセット可能なブレーカー | |
| バッテリー | バッテリータイプ | 12V 小形シール鉛蓄電池 | |
| | 期待寿命 | 3-5年 (放電サイクル数、劣悪なAC電源、環境温度/湿度はバッテリー寿命を短縮させる要因となります) | |
| | 充電時間 | 10時間 | 8時間 |
| | | 注意: バッテリーの充電中にUSBポートを使用すると、より時間がかかります。 | |
| 寸法・質量 | 重量 | 4.3 kg | 4.6 kg |
| | 寸法 長さ x 幅 x 高さ | 32.7 cm x 10.5 cm x 13.9 cm | |
| | 動作温度 | 0°C ~ 40°C | |
| | 保管温度 | -15°C ~ 45°C | |
| | 動作時相対湿度 | 0 ~ 95% 結露なきこと | |
| | 動作時の高度 | 0 ~ 10,000 フィート (0 ~ 3,000 m) | |

バッテリー交換

廃棄するバッテリーは必ずリサイクル施設で処分してください。

使用済みバッテリーはAPC by Schneider Electric 承認済みのバッテリーに交換してください。交換用バッテリーはAPC by Schneider Electric のWebサイト (www.apc.com) からご注文いただけます。BE550M1-JP/BE550M1E-JPのバッテリー交換パーツはAPCRBC122Jです。またBE750M2-JP/BE750M2E-JPの場合はRBC17Jです。

| | |
|---|---|
|  | 本装置には、鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、鉛蓄電池のリサイクルへご協力ください。 <ul style="list-style-type: none">バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において、「特別管理産業廃棄物」に指定されていますので、むやみにバッテリーを廃棄することはできません。バッテリーキットの交換とバッテリーのリサイクルについての詳細は、弊社までお問い合わせください。使用済みバッテリーは必ずリサイクルしてください。使用済みバッテリーは、バッテリー交換用の梱包材を使用して指定の宛先に送料お客様負担にて郵送を交付願います。使用済みバッテリーの郵送先は、交換バッテリーキットをご参照ください。 |
|---|---|

修理サービス

本装置の修理が必要な場合は、販売店に返送せずに、以下の手順に従ってください。

- このマニュアルの「トラブルシューティング」のセクションを参照し、よくある問題であれば解決を試みてください。
- 問題が解決されない場合は、APC by Schneider Electric のウェブサイト (www.apc.com) を通して、Schneider Electric IT (SEIT) カスタマーサービスにお問い合わせください。
 - 型式番号とシリアル番号と購入日をメモに書き留めてください。型式番号とシリアル番号は装置の背面パネルに記載されています。
 - SEIT カスタマーサービスにご連絡いただいた場合は、担当技師が電話で問題の解決を図ります。電話による解決が難しいと判断された場合には担当者からRMA番号(修理受付整理番号)が発行されます。
 - 保証期間中の修理は無償です。
 - サービスの手順と返却はそれぞれの国によって変わります。各国別の説明については、APC by Schneider Electric Webサイトを参照してください。
- 輸送中の破損を防ぐために、装置は納品時の梱包材で梱包してください。梱包には粒状の発泡スチロールを使用しないでください。輸送中に発生した破損は保証の対象にはなりません。
- 輸送前に必ずUPSバッテリーの接続を外してください。米国運輸省(DOT)、および国際航空運送協会(IATA)の規制では、輸送の前には必ずUPSバッテリーを外すように定められています。内部バッテリーはUPSに設置した状態でも発送できません。**
- カスタマーサポートから提供されたRMA番号を梱包の外側に明記してください。
- 本装置には保険をかけ、送料元払いにて、カスタマーサポートが指定した住所にご返送ください。

保証

オンラインで製品登録を行ってください。 <https://clubapc.jp/>

標準の保証は、購入の日から3年間です。お使いの製品と工場で再調整した製品を交換するのがSchneider Electric IT (SEIT) での標準的な手順です。資産タグの割り当てや減価償却のスケジュールの設定などの理由でオリジナルの製品の返却を希望されるお客様は、SEITテクニカルサポートの担当者にご連絡いただいた際にそのようにご指定いただく必要があります。SEITでは、修理部門が故障した製品を受け取り次第、交換品を発送しています。お客様には、SEITまでの製品の送料をご負担いただきます。お客様への交換品送付の送料につきましては、SEITで負担させていただきます(ただし空輸は除きます)。

トラブルシューティング

| 問題と原因 | 対処方法 |
|--|--|
| UPSの電源が入らない。 | |
| UPSがAC電源に接続されていない、壁コンセントに使用可能なAC電源がない、またはAC電源が電圧低下もしくは過電圧状態になっています。 | 電源コードが壁コンセントにしっかりと接続されていること、および壁コンセントに使用可能なAC電源があることを確認します。該当する場合は壁コンセントがオンになっているかを確認します。 |
| UPSはオンになり、電源ボタンは赤色に点滅して本体から継続的に音が発せられます。 | |
| バッテリーが接続されていない。 | 1ページの「 バッテリーの接続 」章を参照してください。 |
| 接続された装置が電力を失っている。 | |
| UPSの仕様を超えた機器のつなぎ過ぎによる過負荷が発生しています。 | コンセントに接続されたすべての重要性の低い機器の接続を外します。1台ずつ、装置をUPSに再接続してください。バッテリーが完全充電されるように、10時間(電源オン時)の間、充電を行ってください。過負荷状態が続く場合、バッテリーを交換してください。 |
| UPSのバッテリーが完全に放電しています。 | UPSをAC電源に接続し、バッテリーを10時間(電源オン時)充電してください。 |
| 停電により、PowerChuteソフトウェアがシャットダウンを実行しました。 | これはUPSの正常な動作です。 |
| 接続された装置がUPSからの矩形波出力に適応しない。 | 出力波形はコンピューターおよび周辺装置向けになっています。モーター駆動装置には適さない場合があります。 |
| UPSは修理が必要な可能性がある。 | 他の解決法をお求めの際は、SEIT技術サポートにご連絡ください。 |
| 電源ボタンは緑色に点灯し、2秒ごとに2度点滅します。 | |
| UPSはバッテリー運転中です。 | UPSはバッテリーで正常運転中です。この時点で、ユーザーは開いているファイルをすべて保存し、コンピューターをシャットダウンする必要があります。AC電源が復旧すると、バッテリーは充電します。 |
| 電源ボタンは緑色にて急速に点滅します。 | |
| UPSのバッテリーの残りランタイムが約2分です。 | 本装置が完全放電に近い状態である。ユーザーは開いているファイルを全て保存してから、コンピューターをシャットダウンしてください。AC電源が復旧すると、バッテリーは充電します。 |
| UPSのバッテリーのバックアップ時間が短くなった。 | |
| • バッテリーがフル充電されていません。 • バッテリーが耐用期間の終わりに近く、交換する必要があります。 | バッテリーがフル容量まで充電するまで、本UPSをAC電源に10時間(電源オン時)接続したままにしてください。バッテリーは年月が経つとランタイム能力が減少します。交換用バッテリーの注文に関しては、 バッテリー交換 を参照してください。 |
| USB充電に時間がかかる。 | |
| UPSのUSB充電器を使ってデバイスを充電した場合、デバイスの専用USB充電器を使った場合よりも時間がかかります。 | USBバッテリー充電仕様1.2とデバイスの互換性を確認してください。 |
| USB充電が止まり、電源オンLEDが緑/オレンジ色に交互に点灯する。 | |
| USBポートでショートを検出、またはエラーを検知しました。 | ケーブルとデバイスをUSBポートから外します。電源ボタンが緑色に変わるとUSB充電が再開されます。電源ボタンが依然として緑/オレンジ色に交互に点灯する場合は、SEITテクニカルサポートにご連絡ください。 |
| USBとコンセントがオフになっているのに、UPSが30秒ごとに2回警告音(アラーム停止モード)を鳴らし続けるか、4秒ごとに1回鳴らし続けます(フルアラームモード)。 | |
| UPSをシャットダウンさせるほど電圧は低くなっていませんが、UPSを起動させてコンセントに電力を供給するほどには高くありません。しかしながら、UPSを充電するのに十分な電圧はあります。 | アラームをミュートするには、クイックミュートを使用します。AC入力電圧が通常範囲内に戻ると、UPSも通常運転に戻ります。 |
| アラームは一定の音量で鳴り続けます。出力は通常通り動作しますが、電源ボタンはオレンジ色に点灯します。 | |
| UPSはAC電源で駆動しており、接続された機器の電力はUPSの定格出力を越えています。電力の断絶が発生すれば、UPSは接続された機器の電源を維持できない場合があります。AC電源が存在する限り、出力への電源は供給され続けます。 | 負荷がUPSの定格出力未満に落ちるまで、UPSから機器の接続を外します。 |
| アラームは一定の音量で鳴り続け、UPSの電源はオフとなります。 | |
| • UPSはバッテリー駆動されており、接続された負荷容量がUPSの定格容量を超えています。 • UPSはAC電源駆動されており、オンライン過負荷条件が長時間の間、解決されていませんでした。 | UPSをオフにする。全ての機器の接続を外します。UPSの電源を入れ、機器を一度に一台ずつ接続します。 |

APC by Schneider Electric IT ワールドワイド カスタマーサポート

特定のカスタマーサポートの国については、APC by Schneider Electric Webサイト (www.apc.com) をご覧ください。